

## 東青地区統合校開設準備委員会（第4回）概要

日時：令和7年12月15日（月）

13:30～14:30

場所：県立青森西高等学校 会議室

### <出席者>

#### ○委員

前田 済 委員長、岡 一仁 副委員長、岩井 友之 副委員長、  
竹内 芳 委員、倉内 由理子 委員、八木橋 敏晃 委員、高田 万里子 委員、  
對馬 牧子 委員、山内 栄隆 委員、常田 清彦 委員、櫛引 素夫 委員、  
高谷 直徳 委員、今別 幸司 委員、白鳥 里恵 委員

#### ○オブザーバー

県立青森西高等学校

山内 拓雄 教頭、山崎 宏美 事務長、千葉 哲也 教務主任

県立浪岡高等学校

野呂 和也 教頭、成田 美幸 事務長、高橋 朋己 教務主任

## 1 開会

## 2 事務局説明

### 第3回東青地区統合校開設準備委員会における主な意見

- 事務局が資料1により、第3回委員会における主な意見について説明した。

## 3 意見交換

### （1）校名案について

- 事務局が資料2及び資料3により、校名案候補への意見募集の結果及び校名案の絞り込みについて説明した。

- 委員長が各委員に対して、委員からの投票が多かった「青森西高校」、「青森西陵高校」、「青森桜花高校」の3案を報告書に記載することについて意見を求めたところ、委員から次のような意見があった。

- 「青森桜花高校」の「桜花」は、特攻機の名前に使用されており、高齢の方がどのようなイメージを持つか心配である。また、阪神競馬場で行われる競走に「桜花賞」というものがあり、ギャンブルをイメージさせる心配があるということも委員間で共有しておきたい。

○ 「桜花」が特攻機の名前に使用されていたということについては、個人的に目と耳にぶつかるところがある。

○ 「青森西陵高校」の「陵」は、古墳を表す文字として使われているほか、相手の上に出て勝手なことをするなどの意味もあり、少し不安である。

○ 本委員会としては複数の校名案を報告するのみで、最終的には県教育委員会が校名を決定するので、不安要素があるということを報告書に記載して、委員の投票数どおり校名案を決定すれば良い。

■ 委員長が「青森西高校」、「青森西陵高校」、「青森桜花高校」の3案を報告書に記載することについて改めて確認し、委員から了解された。なお、「青森西陵高校」及び「青森桜花高校」については、委員から指摘のあった意見も報告書に記載することとした。

■ 引き続き、委員長が各委員に対して、同数で4番目に投票数が多かった「青森新城高校」、「青森桐和高校」、「青森西ヶ丘高校」の3案を報告書に記載することについて意見を求めたところ、委員から次のような意見があった。

○ 「青森西高校」、「青森西陵高校」、「青森桜花高校」の3案のみの記載で良い。

○ 「青森西高校」、「青森西陵高校」、「青森桜花高校」の3案のみを記載した場合、「青森西陵高校」と「青森桜花高校」について共有された不安要素を考慮すると「青森西高校」に決まってしまうのではないかと思われるため、「青森新城高校」、「青森桐和高校」、「青森西ヶ丘高校」の3案も報告書に記載したほうが良い。

■ 委員長が「青森新城高校」、「青森桐和高校」、「青森西ヶ丘高校」の3案も加えた6案を報告書に記載することについて改めて確認し、委員から了解された。

## (2) 東青地区統合校開設準備委員会報告書(案)について

■ 事務局が資料4により、報告書(案)について説明した。

■ 委員長が各委員に対して意見を求めたところ、次のような意見があった。

○ 報告書が提出された後、この報告書はどのように取り扱われるのか。また、提出された報告書はホームページに掲載されるのか。さらに、報告書のみで使われることがあるのか。

→ (事務局) 提出された報告書は、開設準備室が具体的な準備を進めるに当たって参考とさせてもらう。また、県教育委員会のホームページには本委員会の各

回の資料や概要と併せて、報告書も掲載する予定である。なお、報告書のみで使われることについては、使う側の都合によってはあり得る。

- 報告書のみで使われることがあり得るということであれば、「1 東青地区統合校開設準備委員会の設置趣旨及び協議」において、もう少し丁寧に本委員会について説明したほうが良いと思われるため、修正案を提案する。

→（事務局）委員会の設置日を確認した上で、委員提案のとおり修正する。

- 特色ある教育活動の記載について、青森西高校が三内中学校や新城中学校と連携した教育活動を行っている旨の記載があるが、浪岡中学校に対しても同様の教育活動を行ってほしいという意見を記載してもらいたい。

→（事務局）「主な意見」の一つとして記載する。

- 部活動の記載について、統合校においても、全国からバドミントンの活動のために浪岡地域に来ているこどもたちの受け入れ体制を整えてほしいという意見を記載してもらいたい。

- 青森西高校にも40名弱のバドミントン部員がおり、統合校には現在の両校の部活動を設置するということで、当然、そのようなこどもたちも受け入れることになる。また、中学校の部活動は地域展開の動きもあり、こどもたちの希望する活動を広く奨励する方向性もあることから、統合校においても特定の部活動に絞らないほうが、こどもたちが来やすい学校になる。

→（事務局）委員から事前に提出された「全国からバドミントン部を希望して集まってくる生徒の活動が指導体制を含めて失われないようお願いしたい」という意見と併せて一つの意見として記載する。

- 委員長が報告書の記載についてほかに意見が無いことを確認し、委員から了解された。

#### 4 その他

##### 制服検討WG及び教育課程検討WGの進捗報告

- 委員長が岡副委員長に対して、WGによる制服検討及び教育課程検討の進捗について報告を求め、岡副委員長から以下の報告がなされた。

- 制服検討WG

12月8日に第3回WGを開催し、新制服の決定方法や今後のスケジュールについて業者を交えて確認した。また、デザイン等の選定過程でこどもの意見を取り入れるため、青森西高校への入学実績の高い中学校や浪岡中学校の生徒、青森西高校及び浪岡高校の1・2年生に対し、1月にアンケートを実施することについて検討した。今後のスケジュールとしては、制服のデザインを3月に決定し、ネクタイやリボン、エンブレム、ボタンのデザインは著名な方に依頼して生徒獲得に向けたPRにもつなげたい。ネクタイ等についても生徒へのアンケートの実施などを検討している。

○ 教育課程検討WG

11月20日に第2回WGを開催し、開設準備室に、統合校の教育課程案3案（青森西高校の現行教育課程、青森西高校提案の教育課程、浪岡高校提案の教育課程）と、その3案を作成するに当たって実施した内容の記録を引き継ぐこととした。1月中に、第3回、第4回のWGを実施する予定である。

■ 委員長が各委員に対して意見等が無いか確認したところ、委員から次のような意見があった。

○ パーカーを制服として採用する学校が全国的に増えてきている。この制服パーカーについては、その機能面等の効能ばかりでなく、採用後の入学希望者数増加という二次的効果もあったとのことであり、統合校の「魅力の一つ」になり得るものとする。よって、制服のオプションとして、見た目のかわいさや動きやすさ、防寒性等を踏まえ、パーカーを自由選択できるようにしてもらいたい。

○ パーカーの制服を導入することに賛成である。

→（岡副委員長）制服は、冠婚葬祭や式典などにおいても使用できるものが必要となるが、加えてパーカーも導入するとなると保護者の費用負担が大きくなる。要望としてはオプションでということなので、業者にも確認しながら検討していきたい。

○ パーカーの制服を要望する意見があったことを、報告書にも記載してもらいたい。

→（事務局）制服に係る協議結果の記載ページに、「主な意見」の一つとして記載する。

○ 教育課程について、単位制の導入について検討してもらいたい。

## 5 閉会